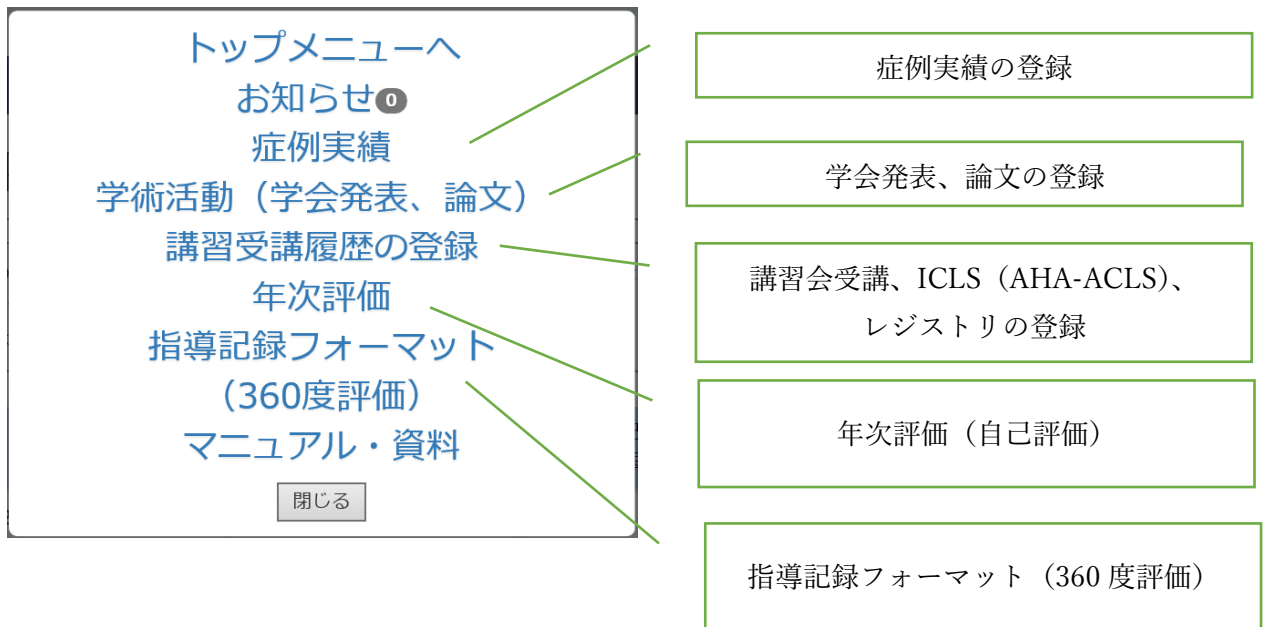


<専攻医が救急科専門研修管理システムに登録するもの>

※3月末日までに修了要件が満たせるよう登録をお願いします。（※2023年3月末を過ぎてもシステムへ実績登録は可能ですが、2023年度申請者の実績対象は2023年3月末までですので、3月末日までに修了要件が満たせるよう登録することを推奨いたします。）



1. 症例実績

- ・必須症例数171例：詳細はシステム内「症例実績」で確認ください

2. 救急科領域での学会発表 (筆頭)

- ・添付資料のファイル添付について ⇒ 学会発表はプログラムや抄録 (ご自身の氏名を確認できるもの) をPDFやJPG等で添付。

3. 論文発表 (筆頭著者が望ましいが、重要な貢献を果たした共同研究者としての共著者も可)

なお、日本救急医学会が認める外傷登録や心停止登録に5例以上を登録することにより論文発表に代えることができる。

- ・論文発表の添付資料のファイル添付について ⇒ 論文の第1ページ (ご自身の氏名を確認できるもの) をPDFやJPG等で添付。

・日本救急医学会が認めるレジストリとは、企業等の営利団体が一切関与しない実績のある大規模レジストリデータベースで、日本救急医学会およびその地方会が関わるものに限定されます。その患者の診療に実質的に関与し、かつその症例登録を自ら行った場合のみ記載可。

※日本救急医学会が認めるレジストリの一覧は「学術活動 (学会発表、論文)」内の「レジストリ登録」に掲載していますのでそちらをご確認ください。掲載されていないレジス

トリを登録する場合、日本救急医学会事務所（office-jaam@umin.ac.jp）までご連絡ください。事務所にて確認し、認められれば、システム内のレジストリ一覧に追記します。

4. 専門医共通講習（医療安全講習・感染対策講習・医療倫理講習の3講習を各1回）

・添付資料のファイル添付について ⇒受講証明など（ご自身の氏名を確認できるもの）をPDFやJPGで添付してください。

・「単位数」という項目名が表示された場合はすべて「1」と入力ください。

・2018年3月31日までに開催された講習会については、日本医師会や施設主催の講習会について受講証の発行されている講習会は登録可能です。

2018年4月1日以降に開催された講習会については、日本専門医機構に認定されている講習会のみ登録可能です。主に医師会、基本領域学会、基幹施設・連携施設が開催しており、認定された講習会については講習会のタイトル等に「専門医共通講習」と明示されています。

・本会認定の共通講習（「日本救急医学会総会・学術集会」や「会員専用ページ（e医学会）の動画配信」での受講等）の場合は、会員専用ページ（e医学会）にある「専門医単位照会」のページから出力できる受講証（PDF）をシステムに登録してください。（受講証に専門医領域名・専門医番号の記載欄がありますが空欄のままです）

5. ICLS（AHA-ACLSを含む）受講

・受講証明（ご自身の氏名を確認できるもの）をデータ化（PDFやJPG等）し、システムに登録してください。

・「単位数」という項目名が表示された場合はすべて「1」と入力ください。

6. 年次評価

・自己評価を入力ください。今年度分は3月1日以降に入力できるようになります。

7. 年次評価指導記録フォーマット（360度評価）

・評価担当指導医の先生に360度評価入力をしていただき、その評価のフィードバックを受けた日付を入力してください。（画面上では入力された360度評価を確認することができないため、直接、担当指導医からフィードバックを受けてください。）

●専攻医用チェックリスト

項目	必須内容	確認
1.診療実績	必須症例171例	
2.救急科領域での学会発表（筆頭）	1回	
3.論文発表（筆頭著者が望ましいが、重要な貢献を果たした共同研究者としての共著者も可）	論文発表1回（もしくは、レジストリ登録5例以上）	

日本救急医学会が認める外傷登録や心停止登録に5例以上を登録することにより論文発表に代えることができる。		
4.専門医共通講習	医療安全講習1件	
	感染対策講習1件	
	医療倫理講習1件	
3.ICLS（AHA-ACLSを含む）受講	1回	
6.年次評価	自己評価	
7.指導記録フォーマット（360度評価）	フィードバックを受けた日付を入力	

問合せ先

日本救急医学会事務所

〒113-0033 東京都文京区本郷 3-3-12

ケイズビルディング 3階

TEL. 03-5840-9870 FAX. 03-5840-9876

office-jaam@umin.ac.jp